

## コロナ禍の中でも、これまでできなかったことができた！学期！

—そして、夏休み！ ぜひ「自分から」、普段はできないことにチャレンジを！—

校長 加藤 隆史

本日、1学期の終業式を行いました。保護者や地域の皆様に温かく見守られて、無事に1学期を終えることができたことに感謝申し上げます。

以下、長文となりますが、終業式に子どもたちに話をさせていただいた内容を記させていただきました。ご一読くださり、ご家庭や地域の皆様も共有にいただければ幸いです。

1学期も、依然としてコロナの波がおさまらない中、本当によくがんばりました。一人一人のがんばりについては、「こどものすがた」をもらうときに担任の先生方からお話があったことと思います。その「よさ」や「がんばり」に自信をもって、さらに磨きをかけてほしいです。

私からは、この1学期にみんなでできたこと、成長できたことについて二つだけ話をします。

一つ目は、「コロナでできなかったことが、できた！」ということです。三年ぶりに泊まりでの6年生の修学旅行、5年生の根ノ上研修、そして全校での水泳の授業ができました。そこでのみなさんの楽しそうな笑顔、そして、仲間を思うあたたかい笑顔がたくさんみられました。こうした行事の大切さをつくづく感じました。なぜなら、5年生や6年生のみなさんは、修学旅行や根ノ上研修の後、とってたくましくなったと私は感じているからです。そして、できなかったことができたのはコロナの状況もありますが、感染が広がらないようにみなさんが気をつけ、お家の方にも協力していただいたからです。先生達も、何とかできなかったことができるようがんばりました。2学期は運動会があります。ぜひ、全校で行いたいです。そして、これまでよべなかったお家の人にもみてもらいたいと思っています。そのためにコロナはさらに続きますが、感染防止と学校の活動の両方をみんなががんばっていきましょう。

二つ目は、「自分から」ということです。これは始業式にみんなががんばりたいこととして話をしました。そんな「自分から」できる人が増えてきました。中でも、「自分から」あいさつができる人が増えたことは1学期の大きな成長です。朝、健康チェックで立っていると、

- ・「自分から」玄関に入ると前に大きな声あいさつをする姿
- ・「自分から」私の目をみて、あいさつをする姿
- ・「自分から」おじぎをして、あいさつをする姿
- ・「自分から」笑顔をつくってあいさつをする姿
- ・「いってらっしゃい」というと、「自分から」ありがとうございますとお礼を言う姿

こうした、いろんな姿をみることができました。どれも「みんなちがってみんないい」です。何より、どの挨拶も「自分から」そうしようと思って行ったことに価値があります。そんな挨拶は私を笑顔にしてくれました。2学期、そして夏休みは、この挨拶のように、「自分から」できることをさらに増やしてほしいと願っています。

そして、いよいよ夏休みです。この後の高森先生のお話をしっかりと聞き取り8月29日には必ず元気な顔であいさつをかわしましょう。

本日、「こどものすがた」を渡す際に担任からは、一人一人の1学期の「よさ」や「頑張り」を伝えました。ご家庭でも、お子さまとご一緒にご覧いただく中で、「この1学期、いろいろたいへんな中でよくがんばったね。」と声をかけてくださるとありがたいです。きっと、そんな一言が子どもたちの次への力になるはずですよ。